

# 湘南に芽吹く沖縄文化

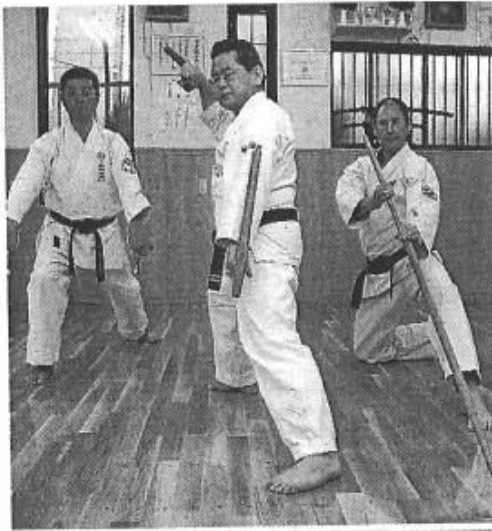
## 茅ヶ崎に武道や琉舞・三線の拠点施設

沖縄の本土復帰から来月で40年。県内は静かな沖縄ブームだ。茅ヶ崎市では沖縄の武道や琉球舞踊、三線を1カ所ですべて学べる施設ができた。県内の沖縄県人会には沖縄出身者以外の入会が目立つ。背景を探った。



向かい合った道着の2人が互いの腕をぶつけ合うたび、「ゴツゴツ」と音が響く。腕立て伏せの態勢で両足をはね上げ、つま先で着地する人もいた。

昨年12月にできた茅ヶ崎市堤の「沖縄伝統技芸振興会館」を6日訪ねた。沖縄空手のひとつ、上地流唐手



を教える湘南修武館の教室だ。沖縄から訪れた師範も加わり、生徒約10人が空手や古武道を習った。

会館は2階建て約200平方メートル。修武館の館長で会員の藤本恵祐さん(50)は茅ヶ崎市に元工務店の建物を購入した。

熊本出身。1980年に大学進学で上京し、八王子市の自宅アパートのそばにたまたまあった上地流の道場に通い始めた。

藤沢市の社宅で暮らして



古武道の演武をする藤本恵祐さん(中央)ら。先生(手前右)の指導で稽古に励む琉球舞踊の生徒ら。祖母が日本舞踊の師範という山崎琉莉ちゃん(6)も楽しそうに舞う。いずれも茅ヶ崎市堤の沖縄伝統技芸振興会館